



平成 25 年 5 月 14 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 博 展
(コード番号：2173 大証 J A S D A Q)
本 社 所 在 地 東 京 都 中 央 区 築 地 一 丁 目 13 番 14 号
代 表 者 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 田 口 徳 久
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 玉 井 昭
電 話 番 号 0 3 (6 2 7 8) 0 0 1 0

平成 26 年 3 月 期～平成 28 年 3 月 期 中期経営計画 (新規)

1. 今後 3 か年の中期経営計画

(1) 当中期経営計画提出時点における前事業年度の総括

平成 25 年 3 月 期は、市場環境に復調の兆しが見え始める中、前事業年度より取り組んでまいりました競争力の強化、幅広い顧客ニーズに応えるサービスの開発並びに提供、全社的な業務効率の改善などにより、期初の予想を大幅に上回る結果となりました。

今後は、主要事業であるイベント展示会事業における競争優位性を更に高めるとともに、新規事業への進出や新商品の開発等にも一層力を入れ、Face to Face マーケティング市場におけるリーディング・カンパニーとして、長期的に支持される企業を目指してまいります。

(2) 中期経営計画の概要及び策定の背景

当社は、コミュニケーションデザインビジネスで No.1 の企業を目指しています。そのマイルストーンとして、平成 29 年 3 月 期に売上高 100 億円、営業利益率 10%を目指しています。これを達成するために、下記の 3 つの取り組みを行います。

a. 新規事業への本格的な進出

顧客ニーズが高まりつつある、セミナー・コンファレンスサポート事業、商環境サポート事業、デジタルマーケティングサポート事業へ本格的に進出し、それぞれを基幹事業として拡大してまいります。出展サポート事業、主催サポート事業（合わせて「イベント展示会事業」という）において培ったノウハウを活かし、競争優位を築きながら売上拡大を目指します。その過程においては戦略的 M&A も視野に入れて注力してまいります。

b. 「点から線へ、線から面へ」長期的なマーケティングサポートビジネスへのシフト

イベント・展示会単体のサポートから、クライアントのニーズに応じて、セールス・マーケティング戦略を立案し、効果的に実行することで、潜在顧客の掘り起こしや、見込顧客の創出等、直接的に顧客売上増加に寄与していくマーケティングサポートビジネスへシフトしてまいります。新規事業を含めた様々なサービスラインナップを組み合わせ提供し、クライアントのマーケティング戦略を推進し目標を達成するためのパートナーとして選ばれ続ける企業を目指します。

NEWS RELEASE

c. 専門性および生産性の向上

業界研究、顧客研究をさらに深め、マーケティングサポート・パートナーとして専門性を高めることにより、よりハイレベルで付加価値の高い提案を行い、シェアの拡大を目指します。

また、アカウント営業とイベント・ディレクションとの役割分担の再定義による組織体制の再構築、外注パートナーとのより効果的な連携、デザイン部門および制作部門の内部稼働率の向上により生産性を高め、一人当たり売上高および一人当たり営業利益を増加させます。また、日本企業の海外出展サポート、海外企業の日本出展サポートについても、常に高品質なサービス提供ができる体制を整えてまいります。

(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し並びにその前提条件

前事業年度の経営成績は、平成 24 年 5 月 28 日付で大阪証券取引所に提出した中期経営計画を 1 年前倒しで達成いたしました。その主な要因は、営業戦略が奏功して競争力が向上し、より大型の顧客からの受注や、年間を通じた指名発注が増加したこと、マーケティングサポートの拡充により案件単価が上昇したこと等です。

前事業年度の経営成績と市場環境を勘案し、新たに平成 28 年 3 月期までの中期経営計画を以下の通り策定いたしました。

2. 今期の業績予想及び今後の業績目標

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成25年3月期(実績)	4,922	375	377	218
平成26年3月期(予想)	5,500	415	411	246
平成27年3月期(目標)	6,500	512	505	303
平成28年3月期(目標)	8,000	710	697	418

・業績予想及び業績目標の前提条件・数値根拠

当社の属する広告・イベント業界は、企業の広告宣伝投資、販促関連投資等の動向に影響を受け、大きくは国内経済の動向に左右されます。現時点において、国内景気は持ち直しの動きが見え始めているものの、先行きには未だ不透明感が完全には払拭されておられません。

そのような状況の中、従来からの主要事業であるイベント展示会事業の競争力を高めるとともに、セミナー・コンファレンスサポート事業、商環境サポート事業、デジタルマーケティングサポート事業へ本格的に進出し、それぞれ以下の売上高の計上を目標としております。

(単位：百万円)

	イベント 展示会事業	セミナー・コ ンファレンス サポート事業	商環境 サポート事業	デジタルマー ケティング サポート事業	その他
平成25年3月期(実績)	4,233	59	260	0	368
平成26年3月期(予想)	4,620	200	300	10	370
平成27年3月期(目標)	5,280	350	400	100	370
平成28年3月期(目標)	6,080	600	700	250	370

また、筋肉質なコスト体質の実現に向けた取り組みについては引き続き行い、中期的な収益性の向上にも取り組んでまいります。

NEWS RELEASE

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上